

小松満の  
コラム  
ひとり言

第12回

## 第一人者と品性

理事長 小松 満

中学生だった1958年頃日本中がミッチーブームに沸いていた。皇太子(現上皇様)と正田美智子さんの結婚は、軽井沢のテニスコートがなれそめだったことからテニスもブームになった。

当時筆者は実際にテニスを目にしたことはなかったように思う。テニスは紳士・淑女のスポーツと言われ、上流階級のものと思っていた。

さて、6月に行われた全仏オープンの子女子ダブルスで、加藤選手の返球したボールがボールガールを直撃して大問題になった。相手ペアが執拗に抗議して加藤選手ペアは失格になった。その後相手ペアは抗議の態度がスポーツマンシップに欠けるとして、SNSを中心に猛批判にさらされた。加藤選手は同情を集めて悲劇のヒロインになった。しかし、加藤選手に非はなかったのであろうか。確かに、故意にやったとは思えないが決して褒められたものではない。気になるのは、少なくとも筆者が目にした限りではペアを組んだインドネシアの選手に対する配慮が全く目につかないことである。この選手は自分に一切関係ないことでその後の試合がなくなってしまったのである。加藤選手がもたらした結果で割を食ったことは間違いない。

テニスは紳士・淑女のスポーツと言われているが、筆者は以前からプロテニスのトッププレイヤーの態度に不快感を覚えていた。

1970年から80年代に活躍した悪童マッケンロー選手やコナーズ選手、ナスターゼ選手など非常にマナーが悪かった。

現在ジョコビッチ選手が最強の選手であることはだれも異論がないだろう。しかし、ウィンブルドン決勝でラケットを木製のポールにたたきつけ破壊するという愚行をした。

大坂なおみ選手はしばしばラケットをコートにたたきつけ破壊した。錦織選手も、さらに今回の問題の原因を作った加藤選手もかつてラケットをスコアボードにたたきつけて破壊している。



誰でも自分のふがいなさに一時的に腹をたて感情を爆発させることはあるだろう。他人に対する敬意やマナーなど高く評価されている大谷翔平選手でさえも7月に14打席凡退したときにはヘルメットを椅子にたたきつけていた。

しかし、自分の最も大事な商売道具を破壊するまで叩き続ける行為は理解できない。彼らにはスポンサーがついており、製作者は少しでも選手の勝利に貢献出来るように努力している。彼らには製作者を敬い感謝する気持ちはないようだ。品性を疑わざるを得ない。

大坂なおみ選手にラケットを提供しているYONEXは「大坂選手を支援することには変わりはないが、今後同じようなことがあれば注意する可能性がある」また、「ジュニア世代や子供たちが真似するのではないかと危惧している」と取材に答えている。

横綱審議委員会による横綱推薦の第1項に「横綱に推薦する力士は、品格、力量が抜群であること」と記されているようだ。第一人者には実力だけでなく、礼儀、節度、人徳、気高さが必要ということである。

日本の第一人者の多くはスポーツ選手に限らず、自分の仕事に関わる道具にこだわりを持ち、丁寧に扱っている。筆者は高校生の頃柔道をしていたが、道場に入るときには必ず一礼をするように指導されていた。

テニスにおいてはラケットであり、テニスコートである。

自分の仕事に関わる全ての人への敬意と道具等への感謝の心を持つべきである。



## 第20回

日  
仏  
整形外科学会  
の  
参加報告

2023年7月8日 横浜のホテルニューグランドで第20回日仏整形外科学会が開催され、フランス人も含め、約180名の参加者がありました。

小松整形外科医院のホームページに残していただいております第19回日仏整形外科学会（2020）で会長を務めさせていただいた関係もあり、①前日に会長主催の晩餐会（ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル）、②当日に学会での膝関節のセッションでの座長、③学会後の全員懇親会での挨拶などを仰せつかりました。

前回はリモート参加でしたが、今回はやっとコロナの規制も緩み、フランス人と face to face で交流することができました。

## 1. 晩餐会

横浜みなとみらいの観覧車を見下ろすホテル最上階の中華レストランで、招待したフランス人を含めた少人数の宴会でした。

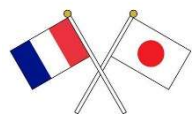
ここで、フランスに精通している日本の女医さんからのアドバイスで、“国が変われば常識は非常識。お酒を注ぐのは女性が絶対やってはいけない行為！”と言われました。

フランス（欧米）では、女性が飲み物を注ぐのは娼婦のすることという概念があるようで、基本的に男性がいる場合に女性が飲み物の瓶や水差しに手を触れません。日本では食事会の際に、よく女性が気を利かせて、男性の世話をしますが、フランスでは女性がお酒のお酌をすることは下品なことだそうです。



## 2. 学会

異国情緒豊かな山下公園を望むホテルニューグランドで開催されました。一般口演の座長は英語の質疑応答なので、事前に質問をいくつか用意して、共同座長の大槻先生（大阪医科薬科大学）に助けをもらいながら、何とか終了することができました。



副院長

星  
忠  
行

### 3. 全員懇親会

ペリー来航の間（ホテルニューグランド）で学会終了後に催されました。約100名の出席者の宴会で、前回会長という理由で、恐れ多くもフランス人を加えたいわゆる“松”のテーブルに席を与えられました。

また宴会の席順以上にドキドキしたのが、今回の会長である柁原俊久先生（横浜南共済病院）からの急なメールでの挨拶の依頼でした。それにはフランス人がいるのでフランス語を少し入れて下さいと添えてありました。

小松整形から出発する金曜日の朝にメールが来たので、私はかなり慌ててGoogle翻訳を駆使して、往きの電車の中で短いフランス語を作り、週1回通っているフランス語教室のケベック人の“おっさん”先生にメールで添削をしてもらいました。

宴会本番では当然ですがカンニングペーパーを持参し、挨拶の順番を待っていましたが、なかなか来ないので、ワインもそこそこ飲んで酔いが回り始めた頃に指名されました。

何とか終わって、席に戻る際にフランス人の一人に、“C’ est parfait.” と言ってもらえたので、その後ホッとしてガッツリ酒を飲んでしまいました。



ということで、飲み会中心の報告になってしまいましたが、最後に学会で覚えてきたおまけの質問をします。

次の中で、存在しないワインはどれでしょうか？

①オレンジワイン ②黄ワイン ③緑ワイン ④黄緑ワイン ⑤黒ワイン ⑥青ワイン

正解は黄緑ワインです。ちなみに私は初めてオレンジワインを飲んで来ました。





# ゆるゆる 自由研究



理学療法士 金長 香織

こんにちは！理学療法士の金長です。

今回久しぶりにアップル通信の原稿依頼がありました。

依頼を受けたのが7月末、原稿内容に悩んでしまいました…。

7月と言ったら『夏』、夏と言ったら『夏休み』、夏休みと言ったら『宿題』、宿題と言ったら『自由研究』！！

ということで夏のゆるゆる自由研究を行い、その結果をゆるゆると紹介します。

## テーマ

### 1日10回の腹筋と10回のお尻上げ運動で起こる身体の変化

暑い時期になると薄着になりポッコリお腹やお尻回りが気になります。

運動をやらねばと気合を入れて運動を始めますが、急に頑張りすぎて身体を痛めたり運動が辛くて続かなかったりとなかなか理想の身体に近づけない…。

文献やYouTubeに運動の継続によって効果が出ることは示されています。

そこでわたしがゆるくて簡単な運動を続けて起こる身体の変化を報告して、皆さんの運動意欲が向上し、理想の身体に近づければと思います。

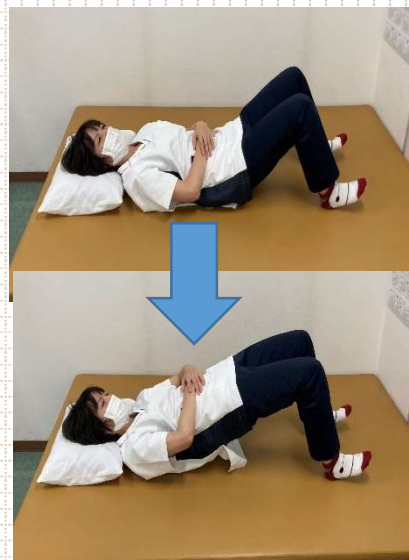
期間 R5年8月6日～R5年8月27日(3週間)

対象 わたしの身体

評価

- ・ ウエストとヒップを計測し、身体の変化を数値化
- ・ 身体の変化(自覚症状)の有無

運動 腹筋運動(写真左)とお尻上げ運動(写真右)  
各10回ずつ



## 結果発表！

### ゆるゆる運動 開始時

- ウエスト59.0cm、ヒップ84.0cm
- 仕事時に軽度腰痛あり
- 職場支給のズボンが窮屈（特に連休明け）
- ショーツからお肉（脂肪）がはみ出ている
- 私服ズボンのウエスト部分にお肉が乗っている
- 排便後、お腹がすっきりしない

### ゆるゆる運動 終了時

- ウエスト56.2cm（-2.8cm）、ヒップ79.5cm（-4.5cm）
- 仕事時の腰痛軽減傾向
- 連休明け（お盆休暇）後の職場のズボンに余裕がある
- ショーツから出ていたお肉が少なくなった
- 私服ズボンに乗っていたお肉がなくなった
- 排便時がスムーズで残便感がない

個人的にお腹とお尻のお肉が気になり、自分の身体に合った運動を行いました。

運動を毎日続けることで身体の余分なお肉（脂肪）が燃焼され、少しずつ引き締まり洋服にゆとりが出ました(^)

腹筋運動により腹圧もかけやすくなり仕事時の腰痛が軽減し、おまけにお通じも快調です◎

自分の身体に合った運動を行うことで無理なく毎日続けられ、身体にとって良い変化が見られました。みなさんに運動の継続の大事さが伝わればと思います。

何度も言いますが**自分の身体に合った運動**を続けることで今回の結果が得られました。

腹筋運動とお尻上げ運動を紹介しましたが、運動を行うことで腰痛などの痛みが生じることもありますので、無理して真似ないようにしてください。